

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report

令和4年(2022)08.01

vol.71



Contents

- 02 5月臨時会議案審議
- 03 6月定例会議案審議
- 06 常任委員会日誌
- 09 令和3年度政務活動費
- 10 一般質問／市の考えを問う
- 18 特別表彰・広報部会
- 19 広聴部会 意見交換会のごあんない
- 20 【シリーズあなたとつなぐ】

甲賀市視覚障害者福祉協会

PHOTO [ふれあいゆるスポフェスティバル ポッチャを楽しむ]

5 月臨時会議案審議



選挙の様子

第2回臨時会を5月13日に開催しました。里見 淳議員の辞職に伴い、副議長の選挙ならびに甲賀広域行政組合議会議員の補欠選挙が行われました。報告案件3件、人事案件1件、専決案件3件について審議を行いました。

副議長選挙

田中 新人

甲賀広域行政組合
議会議員補欠選挙

堀 郁子

報告案件

・市有自動車の不注意による事故により、相手方を負傷させたことによる損害賠償(3万1530円)
 ・信楽町の林道において、落石により相手方の車両を損傷させたことによる損害賠償(9万8087円)
 ・水口町の市道において、側溝グレーティングの跳ね上がりにより、相手方車両を損傷させたことによる損害賠償(35万450円)

主な質疑

Q 信楽の林道(牧富川線)は、舗装がされておらず一般の方が通行するには危険な道路である。立看板を設置するなどして注意喚起をしようか。また、落石等に対して市の責任の範囲はどこまでか。

A 早急に立看板の設置を進めていく。また、市が道路管理者であることから、責任を果たしていきたい。

Q グレーティングの跳ね上がりにしては高額だが、その内訳は。また、過失の割合はどれほどか。

A 修理代として23万1千円、代車費用11万9450円で計35万450円である。過失割合は100%市の責任である。

Q 今後の道路修繕を計画的に進める必要があると考えるが見解はどうか。

A 昔の施工方法のままの箇所については、修繕を図っていく。

Q 他の箇所でも点検が必要ではないか。

A 集落内の箇所については、しっかり点検をして対応していく。

人事案件

◆固定資産評価員の選任

松井 一秀氏(水口町)

専決案件

◆条例例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、本条例の一部改正を行うもの。

- ・寄附金税額控除
- ・法人の市民税の申告納付

- ・固定資産課税台帳の閲覧手数料
- ・新築住宅等に対する固定資産税の減額の規定の適用を受けようとするものがすべき申告 他

◆国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、本条例の一部改正を行うもの。

主な質疑

Q 限度額引き上げに伴って、影響を受ける国保加入者の人数とそれによる税収増の額は。

A 令和3年度の課税ベースによると、23人が課税対象で178万7千円、支援金分については16人で132万3千円、計311万円となる。

◆病院事業設置等に関する条例の一部改正

診療報酬の算定方法の一部を改正する件が告示されたことに伴い、本条例の一部改正を行うもの。

6月定例会議案審議

一般会計補正予算

コロナ禍のもとでの物価高騰等の対応などに

13億645万2千円追加補正

令和4年6月議会定例会は、6月7日から30日まで24日間の会期で開かれ、報告案件3件、条例案件1件、補正予算案件3件、その他案件1件の合計8件、また意見書案5件について慎重に審議しました。議案の主旨、本会議・委員会の主な質疑について紹介します。

報告案件

◆令和3年度一般会計、水道会計、下水道会計それぞれの予算繰越計算書

令和4年度一般会計補正予算

◆補正予算第1号

子育て世帯生活支援
特別給付金支給事業
1億578万6千円

コロナ禍のもと、物価高騰に直面する子育て世帯への緊急経済対策。国の基準に基づき低所得の子育て世帯に対し、児童ひとりあたり5万円支給。

Q 他市町では、国費に独自の上乗せがされているが、本市は検討しなかったのか。

A 別事業で対応。2号補正で予算計上することとした。

◆補正予算第2号

学校給食材料費支援事業
2千万円

給食材料費の高騰を受け、公費負担による補填を行い、子育て世帯負担軽減と安定した学校給食の提供を図る。

Q 今後価格が高止まりすれば、引き続き対策を講じる必要があると考えるがどうか。

A さらなる上昇が続く場合も、補正予算等で迅速に対応する。

妊婦特別給付金支給事業

3500万円

物資高騰に直面した妊婦に対し、無事に出産を迎えることができるよう給付金支給。

Q 補正での計上となった理由は。

A 当初予算は今年4月1日以降に母子手帳の交付を受ける妊婦が対象であったが、4月以前に妊娠届を出した妊婦も安心して出産できるよう対象とした。

住民税非課税世帯等
臨時特別給付金支給事業

1億4千60万円

物価高騰による影響を緩和するため、住民税非課税世帯、家計急変世帯に対し、1世帯あたり2万円の支援金を支給。

Q 給付の手続きはどうなるのか。

A 住民税非課税世帯と家計急変世帯ともに申請は不要。簡単な手続きで迅速に給付できるところとする。

小規模事業者事業維持・
活性化支援金

2億1550万円

原油・資材費高騰の影響を受ける商工事業者等の事業維持と持続的発展を図るため、法人10万円、個人事業主5万円を補助。

Q 支給は申請によるのか。支給にあたっての要件はあるのか。

A 対象者からの申請に基づき、書類を審査したうえで支給。商工会会員の場合は、商工会を通じて支給する。要件は、小規模事業者であることに加え、法人の場合は市内に本店があること、個人事業主は本市に住民登録を有すること。また今後も事業を継続する意思があること。

6月定例会議案審議

子育て世帯臨時
特別給付金支給事業

1億6498万円

コロナ感染や物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、0歳から18歳までの児童にひとりあたり1万円の給付金を支給。

Q 中には所得が上がった世帯もあるのではないかと。影響を受けている、受けていないに関わらず一律に支給とするのか。

A 暮らしの中で、全ての人が物価高騰の影響を受けているとして、所得制限なしで一律に支給とする。

コミュニティバス運行事業
2200万円

スマートバス停の設置等にかかる経費。

Q バス停の設置等とのことだが経費の詳細は。

A 西友前バス停の上屋の新設、情報通信工事費用等を見積もった。

コミュニティバス
施設整備事業

2110万円

運行情報データ集約システム等にかかる経費。

Q バス停にデジタルサイネージを導入とのこと。詳細は。

A 西友前、市役所前、甲賀病院、近江土山駅の4カ所導入に約1700万円、小型バス4台分の乗降センサーに約200万円等。

Q 公共交通の見える化について、多言語化は考えているか。

A 外国人の方等が乗車しやすいよう段階的に改良していきたい。



貴生川駅のデジタルサイネージ

甲賀土山・C周辺

工業団地整備事業

2千万円

データセンター等の立地及び事業実施の可能性に関する調査。

Q 立地条件として、アピールできるのはどういった点か。

A 大阪から50kmが最適とされている。本市は70kmだが、インター周辺という点でアピールしたい。

市立保育園管理事務費

748万円

保育所A I入所選考システム導入にかかる経費。

Q システム導入の目的、留意点はどういったものか。

A 保護者の申請における利便性向上と業務効率化を目的に導入。留意点としては、保護者の利便性向上のためにするべきこと、また、A Iによる選考ということから本市に合ったものを検証しながら進める必要があると考える。

Q 有効な施策だと考えるが、当初予算に計上しなかった理由は。

A 限られた予算の中での編成で

あり、今回交付金として採択されたことで、補正として計上。

ICT教育環境整備事業

小学校 6440万円
中学校 2899万2千円

小中学校の電子黒板等の導入にかかる経費。

Q 有効に活用するため、導入にあたっての支援体制は。

A 委託業者によるICT支援員が授業のサポートを行っている。また、教育委員会所属のICT支援員が学校訪問をし相談支援を実施。各校のICT担当教員が研修を行い伝達講習をしている。

Q 導入規模は。

A 小中学校全てのクラス教室に導入予定。

Q 導入台数と単価は。

A 小学校257台、中学校115台、1台あたり25万円である。



電子黒板を活用しての授業

5月臨時会・6月定例会議案審議・意見書

5月臨時会議案の審議結果

全員賛成で同意・承認した議案	
人 事	甲賀市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
専決処分の承認	甲賀市税条例等の一部を改正する条例
	甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	甲賀市病院事業設置等に関する条例の一部を改正する条例

6月定例会議案の審議結果

全員賛成で可決した議案	
令和4年度補正予算	一般会計補正予算(第1号)
	一般会計補正予算(第2号)
	一般会計補正予算(第3号)
条例の一部改正	甲賀市税条例等の一部を改正する条例
その他	財産の取得につき議決を求めることについて

意見書	提案者	全員賛成で可決した議案
	木村	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書の提出について

ZEB：ゼロ・エネルギー・ビル

○：賛成 ●：反対

賛否の分かれた議案・意見書 議決結果																										
議案等の名称	提案者	討論		凜風会							誠翔会				公明党			日本共産党 甲賀市議員団			北田 麗子	堀井 進	糸目 仁樹	結果		
		反対	賛成	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久光	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	橋本 律子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	戎脇 浩	小河 文人	木村 眞雄	堀 郁子	田中 將之	西山 実					岡田 重美	山岡 光広
女性差別撤廃条約選択議定書の 批准を速やかに求める意見書の 提出について	岡 田	小 倉	西 山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	否
消費税率５％への引下げを求め る意見書の提出について	西 山	西 田	岡 田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	否
「健康保険証の原則廃止」の見 直しを求める意見書の提出につ いて	山 岡	堀	西 山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	●	否
地方公共団体情報システムの標 準化に向けての意見書の提出に ついて	堀	岡 田	木 村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可

※田中喜克議員は議長のため採決に加わらない

議員の不祥事の
反省に立って

議長 田中 喜克

長引くコロナ禍の中、市民の皆さまにおかれては、厳しい社会状況下でお仕事、生活を懸命に努めていただいている最中、市民の皆さまの負託を受けて皆さまの豊かな生活、福祉充実、安全安心のため、懸命に活動しなければならぬ私達議員で、要職にある者が「誇れる甲賀市のまちづくり」にご尽力いただいている皆さまのご努力に水を差し、信頼を大きく損ねる不祥事を起こしました。心より深くお詫び申し上げます。

かかる件は公務外、私事時に起こった交通事故であったとは言え、負傷された被害者がおられ、決してあってはならない事象であります。

負傷された被害者の方の一日も早いご回復をお祈りいたします。

この後は、議員一同心新たに市民の皆さまの信頼回復に懸命に努めてまいります。

総務常任委員会 日誌

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。



委員長 小河文人 副委員長 岡田重美 福井進・奥村則夫・瀬古幾司・西村慧・堀郁子・谷永兼二

■ 4月15日

30歳のつどい開催支援補助金、移住定住モデル地域支援制度、「地域別ブランドデザインづくり」と「地域コミュニティの現状と目指す姿」、甲賀市協働のまちづくり指針(案)

■ 5月17日

あいコムこうか経営健全化取組、自治振興会、区・自治会の整理再検討、防災気象情報の改善、分野別計画の策定・条例の制定等

■ 6月22日

甲賀市税条例等の一部を改正する条例の制定、公共施設使用料の見直しの進捗状況、DX推進に向けた取り組み、(仮称)県立高等専門学校の設置場所の提案、令和5年度国・県の施策に対する要望(素案)等

所管事務調査

「あいコムこうか」の経営健全化に向けた取り組みの進捗状況について

昨年度10周年を迎え、契約獲得件数では年間目標を越え、また債務超過も解消された。持続可能な経営の安定に向けてアクションプランの推進、中期ビジョンⅡを確実に実行されるよう、あいコムこうかとの毎月の定例協議を通じ、情報や課題を共有し、市としての指導等を行なっていく。

主な質疑

Q 情報と課題の共有化の成果は。

A 共に協議・議論する場がなかったが、情報共有の場が毎月出来たことは特に大きな成果である。

Q 債務超過が解消されたが、今後の見通しはどうか。

A 営業成績、営業目標、工事目標等が達成できれば、安定した経営基盤が出来ると予想している。

Q 市との関係の今後の方向性は。

A 第3セクターがいいのか、完全民営化がいいのか、その他のパターンも含め、在り方審議会の議論も踏まえ総合的に考えたい。

自治振興会、区・自治会の整理に係る再検討について

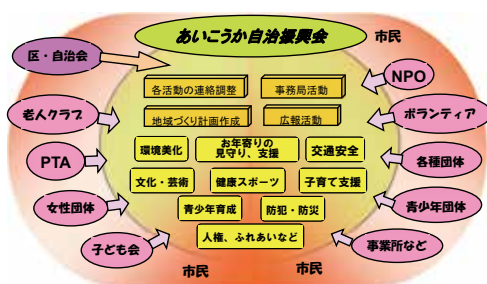
総務常任委員会、区・自治会、自治振興会の代表者会議などでの意見も踏まえ、予定していた令和5年4月実施にこだわらず、自治振興会の仕組みを再構築し、地域事情に合わせて、さらに深掘りした検討を重ねたい。

主な質疑

Q 時期をずらすことだけで地域の納得を得られるものではないと考えるがどうか。

A 市民参画・協働推進検討委員会からの7つの提言の中身を深掘りした再検討を行ない、自治振興会によるまちづくりという基本の

自治振興会のイメージ図



付託議案審査

税条例の一部を改正する条例制定

ベースを持ちながら、どういう形が地域の皆さまにご理解いただけるのかをさらに考えていく。

Q ブランドデザインと自治振興会の在り方とは別と捉えているのか。

A 別とは考えていない。ブランドデザインを話し合う中で、地域コミュニティの在り方も議論していただく必要があると考えている。ブランドデザイン作成も2年間にはこだわらず、また市職員も参画して進めたい。

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴う改正。

主な質疑

Q 税収への影響はどうか。

A 特定の対象者ではあるが、市県民税で約40万円の減収、国保税で最大約186万円増収の可能性がある。なお、住宅借入等特別税額控除の期限延長に伴っての市税の減収が、約9500万円の見込みであるが、全額国費で補填される。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

厚生文教常任委員会

日誌

市民の生活と福祉、医療介護、子育て、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



委員長 橋本律子 副委員長 戎協浩 北田麗子・木村真雄・中島裕介・山岡光広・田中新人

田中新人前委員長の副議長就任に伴い、橋本律子委員が委員長に互選されました。

■ 4月18日

重層的支援体制整備事業実施、地域防犯カメラ等設置事業補助金、つどいの広場実施場所移転、児童クラブにおける家庭学習支援等

■ 5月16日

ここのつす園現地視察、ごみ排出困難者支援事業、小中学校あり方審議会での審議、甲南認定こども園整備事業に係る設置・運営事業者募集、フリースクール利用支援事業、子ども読書活動推進計画等

■ 6月23日

財産の取得、青少年安全誓いの日条例に伴う事業実施計画、市設置多機能端末の撤去、甲賀市地域医療審議会の答申等

所管事務調査

重層的支援体制整備事業について

主な質疑

Q 新たに地域共生社会推進課が設けられたが相談窓口はこちらか。

A 基本的には分散型窓口とし、職員の聴く力・受け止める力を強化していきたい。支援体制は多機関協働も含め、全庁的に取り組む姿勢である。



誰一人とり残さない支援体制づくり (厚生労働省 HP より)

現地視察及び所管事務調査

ここのつす園の運営について

令和4年4月に公私連携携幼保連携型認定こども園として開園しました。



ここのつす園玄関に設置

主な質疑

Q 意見箱が設置してあるが、その理由と今後の対応は。

A 保護者からの要望で設置。寄せられた内容は市で取りまとめ、回答は園から保護者に行っている。

懇談会

民生委員児童委員協議会連合会

住みよい魅力あるまちづくりをめざして、支援が必要な方々との関わり方や避難行動について情報交換、意見交換をしました。



滋賀県民生委員・児童委員キャラクター
【びわっ湖 ミンジー】

付託議案審査

財産の取得について

市内小中学校で使用する指導者用コンピュータ207台を購入する。

主な質疑

Q 新しい機器の性能・データ移行・導入ソフトについて伺う。

A 前回機器と同等ないし性能が高いものを導入。データ移行はクラウドを介す。ソフトは令和3年度から導入された授業を共同で実施できる事業支援ソフトを引き続き使用する。学校外でも使うことができ、遠隔地とも交流が可能となっている。

Q 今回、リースではなく物品購入となった経緯は。

A 購入に比べリース料率が5年間で高額であったこと、今回は国の補正予算で有利な特定財源が見いだされたことが理由にあげられる。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

産業建設常任委員会 日誌

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



委員長 橋本恒典・副委員長 西田忠 西山実・糸目仁樹・小倉剛・林田久充・田中将之

■4月13日

道の駅あいの土山の活性化に向けた基本方針及び計画・現地視察、第72回全国植樹祭、みなくち総合公園再整備基本計画の策定、貴生川駅周辺整備、空き家対策にかかる今年度の補助金事業等

■5月18日

第72回全国植樹祭の概要・現地視察、近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗、デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択、地域公共交通計画の策定、ごみ排出困難者支援事業等

■6月24日(協議会)

「信楽高原鐵道列車事故の総括」に関する冊子等

所管事務調査

道の駅あいの土山の活性化に向けた基本方針及び計画について

道の駅あいの土山については、施設の再整備が計画されています。1月18日の委員会でも基本方針について所管事務調査を行いました。3月には委員会でも「道の駅 お茶の京都みなみやましろ村」で視察研修を行い、今回は再度、基本方針と基本計画について確認しました。

主な質疑

Q 道の駅甲賀ではなく、土山にする意味をしっかりと持たなくてはならない。お茶をもっと前面に。

A 土山の活性化・賑わいを基本に、市内に広げたい。土山のお茶をメインにしたうえで、市内の特産品へと波及効果をもたらしたい。

Q 基本計画の中で、コンセプトをもっと明確に。防災機能は、必要性等十分理解できる。

A 防災機能は、大規模災害等により、道路利用者が一時的に避難した際の非常電源の確保や飲料水の備蓄、マンホールトイレの設置等。広域的な災害に備えて、防災道の駅の指定を目指す。

現地視察

道の駅あいの土山について



道の駅あいの土山の売り場を視察

4月13日に道の駅あいの土山の現地視察を行いました。現地調査では、社長、駅長から、運営面、施設面の現状と課題を確認しました。品ぞろえの改善、コンセプトの明確化など、再整備計画の所管事務調査に活かしていきます。

第72回全国植樹祭について

6月5日開催の第72回全国植樹祭の前に、5月18日に主会場の鹿深夢の森にて現地視察を行いました。

会場では式典会場の整備工事が進んでおり、会場のレイアウトや当日の進行についても確認しました。



式典会場の整備状況を視察

令和3年度

令和3年4月1日～令和4年3月31日

各会派別政務活動費報告

研究研修費

調査旅費

資料作成費

資料購入費

広報費

広聴費

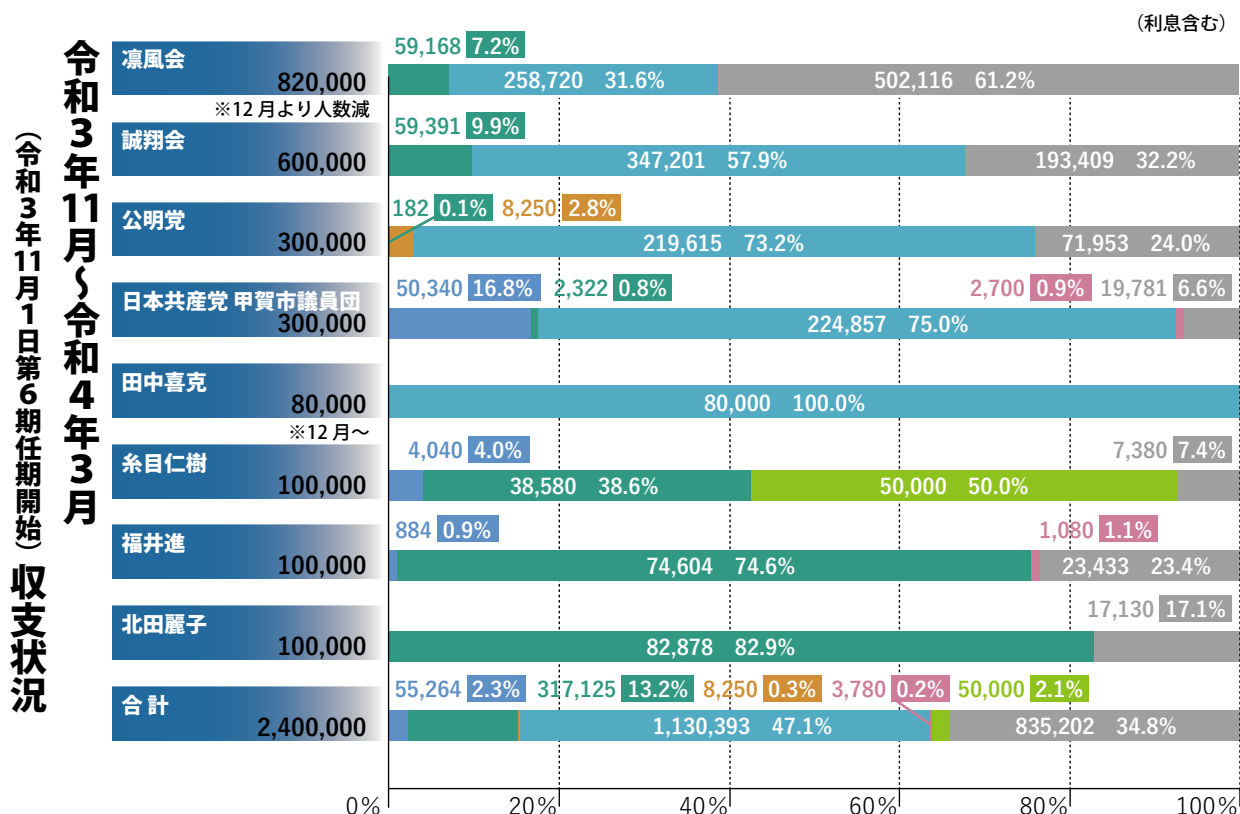
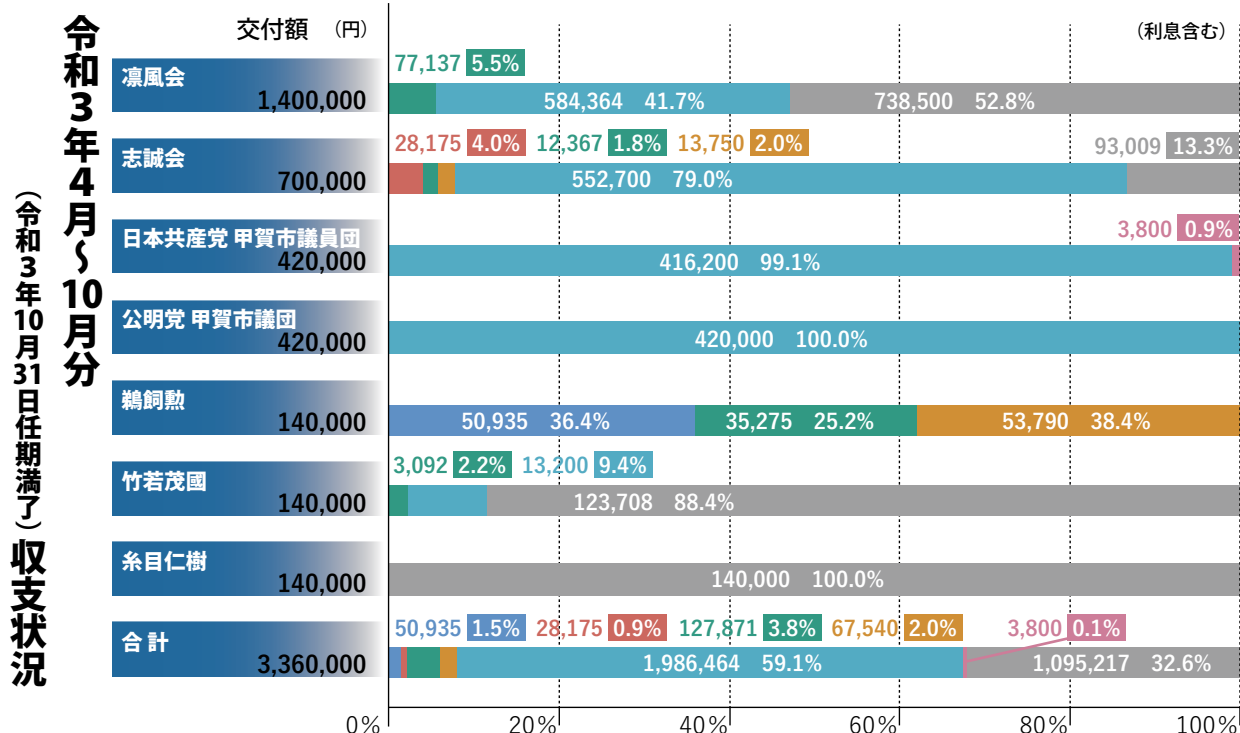
要請陳情活動費

その他の経費

残額(市へ返還)

議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として政務活動費が議員1人1カ月2万円で、所属会派(無所属議員にあっては個人)に交付されています。年度末にその使途を明確にして精算し、残金は返還しています。

収支報告書、領収書等は市議会ホームページで公開しています。



19人の議員が 市の考えを問う

令和4年
6月16日・17日・20日・21日

目次

令和4年 第3回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏 名	質問事項	順番	氏 名	質問事項
1	えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 市民に支持される保育行政であるために	11	にしむら けい 西村 慧	1 みなくち総合公園(氷口スポーツの森周辺)における「遊戯施設」の再整備について 2 JR寺庄駅(南口)における通勤・通学の安全について 3 市内における避難場所の耐震条件について
2	いとめ まさき 糸目 仁樹	1 ワクチン被害の相談窓口設置を 2 小中学校児童のマスクについて 3 大阪関西万博に向けた甲賀市の方向性 4 農作物の他自治体への直売について	12	にしやま みゆる 西山 実	1 都市計画道路の見直しについて 2 大型車両の通行による住宅地の騒音と振動について 3 地域別ランドデザインの推進方針について
3	たなか あらと 田中 新人	1 甲賀市ゼロカーボンシティ宣言について 2 消防車を運転できない団員について 3 農作業事故と対策について	13	おかだ しげみ 岡田 重美	1 公立保育園の使用済み紙おむつ持ち帰り廃止について 2 不慮の災害による税、保険料の減免について 3 コロナ感染対策 自宅療養者・濃厚接触者への対応について 4 投票所等の見直しについて
4	きむら まさお 木村 眞雄	1 ヤングケアラーの支援策について今後の方向性や取り組みの計画を問う。 2 通学路における危険箇所への安全対策について。 3 教員の働き方改革について現状の認識と対策について問う。	14	にしだ まこと 西田 忠	1 旧東海道の街並み保存について 2 自動運転技術を見据えたまちづくりについて
5	ふくい すずむ 福井 進	1 未来につながる環境保全に関して太陽光発電による乱開発 2 未来につながる教育予算に関して教育予算の増額 3 未来につながる幼児保育・教育に関して認定こども園の統合・民営化	15	たなか まさゆき 田中 将之	1 信楽まちなか芸術祭を終えて～文化芸術をまちづくりの柱に～ 2 ゴミシリーズ～自販機リサイクルボックスの異物混入をどうするか～
6	ほり いくこ 堀 郁子	1 防災について 2 男女共同参画 3 ネット中傷やネット詐欺の被害者支援 4 太陽光発電パネルの大量廃棄に向けて 5 健康づくりについて	16	はしちと りつこ 橋本 律子	1 忍者観光拠点整備事業の現状と今後 2 共生社会に向けた事業推進を農福連携で！
7	おくむら のりお 奥村 則夫	1 お茶のブランド化について 2 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会について	17	せご いくじ 瀬古 幾司	1 空き地・空き家の環境美化…条例の実効性を問う 2 部活動の地域移行について
8	おぐら つよし 小倉 剛	1 市内の河川利用について 2 不在地主問題について 3 犬や猫へのマイクロチップ装着の義務化について	18	はしちと ひさのり 橋本 恒典	1 社会的養護の推進と市内の児童養護施設について
9	やまおか みつひろ 山岡 光広	1 自治振興会と区及び自治会 今後のあり方について 第2弾 2 生活保護申請における「扶養照会」について 3 原発避難マッチングについて 4 甲南インター周辺工業団地造成計画について	19	おがわ ひみと 小河 文人	1 本市へのデータセンター誘致に向けた取り組みについて問う。 2 本市と業者との契約のあり方に対して問う
10	なかじま ゆうすけ 中島 裕介	1 『甲賀のくすり』を生かそう。 2 市の魅力発信について			

■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
健康福祉部長	健福部長	総合政策部長	総政部長	産業経済部理事	産経理事
危機・安全管理統括監	危機統括監	市民環境部長	市環部長	選挙管理委員会事務局長	選管局長



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

戒脇 浩
誠 翔 会



Q こども園に市の応援体制が必要
A 市職員が園に直接入って指導する

Q 4月に市内で初の公私連携幼保連携型認定こども園「このつす園」が開園したが、安全対策、保護者対応の不備など課題が噴出している。私立としての園の責任が第一義であるが、市の指導責任も否めない。その上で責任追及ではなく、子どもたちの楽しい園生活、保護者の安心のため、園・市当局が役割を果たすことが大切である。安全面の不備に対し、開園前の指導は。
こ政部長 設計段階で改善の指示を行ったが解消には至らず、市の確認不足もあった。
Q 当たり前のことができていない。できていて当然の思い込みからの指導不足では。
こ政部長 協議は行ってきたが、より踏み込んだ協議、調整が必要であったと痛感している。

Q 子どもたちや保護者の満足のためには、市としての適切な指導、十分な支援が必要である。

市長 園が鋭意取り組んでいるが、市としても、お子さまや保護者の皆様に安心はもとより、ご満足いただける園運営がなされるよう、市職員が直接園に入って指導、助言を行っていく。



安全面、改善後の「このつす園」

糸目 仁樹
無 所 属



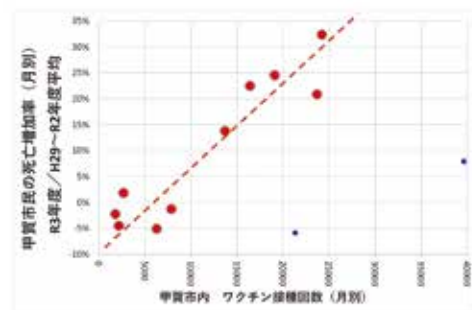
Q ワクチン被害の相談所創設を
A 相談センターの体制充実に努める

Q ワクチン接種開始の昨年度は、死亡者数が有意差で増加し、接種回数に比例。被害者のワンストップ相談窓口を創設出来ないか。

市長 相談センターで医療機関の受診調整、健康被害救済制度の手続き支援なども行い、相談者の気持ちに寄り添った対応を進める。

Q オミクロン株は弱毒性で、滋賀県のコロナ重症者病床占有率は0と、リスクは十分低い。マスク着用による熱中症リスク増大、低酸素状態による健康上の弊害を避けるために、小中学校児童生徒にマスクを外すよう指導すべきでは。政府も着用緩和の方針を出している。

教育長 厚労省通達を受け、学校運営ガイドラインの改定を行ったが、マスクの着用が基本的な感染防止対策であるとの認識は変わらず、感染状況が予断を許さないこともあり、感染防止を第一に考える。



甲賀市内死亡者数増加率とワクチン接種率の相関

田中 新人
凜 風 会



Q 甲賀市ゼロカーボンシティ宣言は
A 早期宣言すべく準備を進めている

Q 脱炭素社会・カーボンニュートラル・ゼロカーボンシティについての受け止めは。

市長 脱炭素社会は、化石燃料への依存から脱却し、持続可能な経済活動が実現された社会。カーボンニュートラルは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質ゼロにするもの。ゼロカーボンシティはカーボンニュートラルが達成され、保たれている社会。

Q 消防車を運転できない団員の対策方向性は。
危機統括監 準中型免許の取得補助制度を導入するか、新制度下の普通免許でも運転可能な軽量型ポンプ自動車に計画的に切替えるか消防団検討委員会や幹部会で検討。

Q 農作業事故と対策で草刈り機は。
産経理事 斜面・法面の不安定な姿勢による事故が多くスパイク靴の着用など安全性を高める対策が必要である。



自然資源を生かし脱炭素

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

木村 眞雄
公明党

Q ヤングケアラー支援策について

A 早期支援に繋げる体制を構築する

Q ヤングケアラーの実態調査から支援対策までのロードマップをどのように考えているか。

こ政部長 調査は12月末までに集計、分析、課題抽出等を、今年度中に学校関係者、福祉関係者等を対象に報告と研修を行う。並行して、ヤングケアラーに関する周知及び啓発を広く行い、早期の支援に繋げていける体制を構築する。

Q 市道ニューポリス稗谷線について、安全対策が必要と考えるがその認識はいかがか。

建設部長 通学路の

更なる安全な歩行空間確保に向けて、議員提案の手法により特に危険な箇所から順に対策を検討する。

Q 教員の働き方改革について現状の認識と対策は。

教育長 教育委員会が新しい取り組みを始める際、「あれかこれか」の観点で見直す必要があり、そのことが学校における「スクラップ・アンド・ビルド」に繋がると考える。



歩道が極めて狭い通学路

福井 進
無所属

Q 未来につなぐ環境と保育・教育

A 自然・教育等の環境整備を進める

Q 太陽光発電の乱開発に対する市の対応と、なおざりにしている国への働きかけは。

建設部長 業者に指導を行うとともに、市民の不安解消に努める。

市長 改善命令等の法的措置を働きかける。

教育予算の増額は。

教育部長 削減した学校用務員の勤務に関しては、必要に応じて時間外手当の措置、暖房のエアコンへの移行についても検討する。

市長 ソフト面の充実に軸足を置きながら教育予算を確保していきたい。

Q こども園の統合・民営化のさまざまな課題への対応は。

こ政部長 課題に対して、公私連携のもと、安心して子どもを育てられる環境づくりに努める。



伐採・放置されたままの森林

堀 郁子
公明党

Q 傷病者保護にAEDへ三角巾配備

A 三角巾の配備は前向きに検討

Q 小中学校にマンホールトイレを設置しては。災害時にドローンを支援活動の効用に事業者と提携しては。傷病者保護に胸元を隠すためAEDに三角巾の配備を。

危機統括監 ドローン提携。三角巾の配備検討。

Q 女性のデジタル人材育成と就職までの一気通貫支援を。父親の育休取得増加を。

産経部長 女性デジタルスキル習得講座開催や企業にDXを啓発しマッチングを検討。父親の育休取得が100%の市内の企業は社内風土が良く、上司が取得を進める。市も令和8年度に30%目標に進める。

Q がん患者が入浴施設に入る時の入浴着へ補助や周知を。前立腺がん患者の尿漏れパッドの始末に男性トイレにもサニタリーボックスの設置を。健康づくりのためポイント制を導入し、県のデジタル通貨と変換しては。

健康部長 入浴着

を補助対象品目として検討。周知する。男性トイレのサニタリーボックスは検討。ポイント制は必要な視点。



滋賀県の入浴着啓発ポスター



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

奥村 則夫
誠 翔 会



Q 次回の国スポ・障スポ部局連携は
A オール甲賀で準備を進めていく

Q 国スポ・障スポの整備計画は。

建設部長 市民スタジアム・グラウンドのメンテナンスなどを含め、大会会場となる施設について着実に整備を進めていく。

Q 障害者スポーツ大会のバリアフリー化は。

建設部長 優先的に対応するべきもので、利用者にご不便をかけることのないよう改修とみなく総合公園再編整備基本計画の中でユニバーサルデザイン化を進めていく。



大会キャラクターのキャプティンとチャプティン

Q 土山茶のブランド化の経緯について。

産経理事 プロジェクトチームを立ち上げ、ほうじ茶のブランド化を進める。

Q 今後の支援あり方は。

市長 7月にブランド名を公表し、9月から、一般販売をし、茶の生産活動を活性化し、消費者の認知度を高めていくことで、販売促進につなげていく。

小倉 剛
誠 翔 会



Q 不在地主問題
A きめ細やかな啓発に務める

Q 現状と市民周知はどうか。

総務部長 このたびの法改正による相続登記の義務化は、市民の財産管理に影響を及ぼすものであり、令和6年4月の法施行までに、窓口での案内をはじめ、市広報紙やホームページに掲載するとともに、法務局とも連携を図りながら、きめ細やかな啓発に務める。

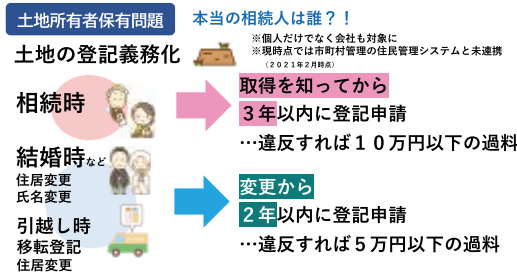
Q 現状把握および対策は「農地・山林」。

産経理事 農地については相続登記の必要性に関する周知・啓発を行うなど、農業委員会や法務局等の関係機関としっかりと連携し、農地の維持保全に繋げる。また山林についても農地と同様の問題を抱えており適正な森林管理がされるよう取り組む。

Q 現状把握および対策は「空家」。

建設部長 管理不全の状態となる空家等の抑制につながる施策の構築に努める。

建設部長 管理不全の状態となる空家等の抑制につながる施策の構築に努める。



土地の登記義務化は令和6年4月1日施行

山岡 光広
日本共産党



Q 扶養照会「生活保護のしおり」訂正を
A 議員の指摘通り更新して改訂した

Q 自治振興会と区及び自治会の今後のあり方については、地域によって温度差がある。強引に進めるのではなく、地域づくりは、納得と合意を前提に進めるべき。

総政部長 地域で議論を深めていただくことが重要。熟度についても十分でない地域もある。よって地域の現状を詳細に把握し、区・自治会の一体化した自治振興会運営等、また会計処理や監査方法を徹底する方策についても再検討する。区及び自治会の要望は、切実な思いが込められているものであり、速やかに対応できる仕組みづくりを検討する。

Q 生活保護申請における扶養照会の取扱いについて厚労省から昨年の2月・3月と相次いで改善通知が出されているのに、甲賀市の「生活保護のしおり」は、改定されていない。早期に見直しすべき。

健康部長 議員

指摘の通り更新ができていなかった。ので、改訂した。これまで以上に寄り添った支援に努める。



改定された生活保護のしおり

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

産経部長 「くすりと健康」を観光資源として活用すること、薬産業と観光産業それぞれに相乗効果が生まれる仕組みづくりを進める。



甲賀の製薬・売薬用具

くすりと健康を観光に繋げることに對する市の考えは。

産経部長 甲賀の売薬用具について、文化庁や滋賀県と調整し、令和5年3月に日本で初めてとなる『交易』の分野で登録される予定。

市長 『甲賀のくすり』に對しての市の認識は。稼ぐ力の強い地場産業であるが、配置売薬では、制度の見直しやライフスタイルの変化等により事業者数が大幅に減少しており、今後、高齢社会におけるニーズやウイズコロナに對応した新たなビジネスモデルの構築に向け、官民により検討を進める必要がある。

『甲賀のくすり』に對しての市の認識は。

甲賀のくすりの市の認識は
強い地場産業として官民連携を

中島 裕介
誠 翔 会



建設部長 注意喚起としての路面標示も含めて関係機関と協議調整を図り、効果的な安全対策を検討。



通勤・通学時間帯のJR寺庄駅南口の様子

建設部長 駅前には歩道や横断歩道等なく、駅前道路を斜め横断されている状況を確認。

JR寺庄駅(南口)における現状の認識は。

危機統括監 現時点では、現行制度である区・自治会等の建物の耐震化を推進していきたい。

自主避難場所に對して、市の責任の認識は。施設管理者だけでなく、状況によっては一定の責任が出る可能性もあると認識。

さらなる遊戯施設整備の必要性の認識は。子育てしやすいまちづくりを目指すために、市内の中心にある水口スポーツの森に天候に左右されない遊戯施設が必要であると考え

さらなる遊戯施設整備の必要性の認識は。

水口スポーツの森の再整備は
R7年に室内遊戯施設を新設予定

西村 慧
凜 風 会



総政部長 グランドデザインは、地域ごとの「将来の姿」とその姿を実現するための方法をまとめるもの。行政の役割も含めたアクションプランである。現在23地域の中で検討委員会の設置は7地域、多様な参加を求めているが、若者の参加が難しい。地域ごとに、自治のあり方や課題も異なる中、市内一律、同じペースを進めることは難しい。

建設部長 4路線について整備路線と廃止路線に整理していく必要があると考えている。

計画策定以来ほとんど進んでいない都市計画道路の今後の方向性は。

建設部長 通行規制は難しいが、近隣の工業団地の企業に対し、住宅地道路を迂回するよう要請している、市道の凹凸はすぐに補修する、県道についても県に補修を要請する。



県道山名坂線を通過する大型車両

深夜・早朝に住宅地横の県道・市道を通過する大型車両の騒音と振動の対策を。

大型車による騒音と振動の対策を
通行規制は難しいが道は補修する

西山 実
日本共産党





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

岡田 重美
日本共産党



Q 保育園の紙おむつ持ち帰り廃止を
A 園の処分に切り替える方向で調整

Q 公立保育園で使用済み紙おむつが持ち帰りとなっているが、衛生面や保護者の負担軽減からも、園で処分することを検討してはどうか。
こ政部長 衛生面や感染対策の観点からも、持ち帰りから保育園での処分に切り替える方向で調整を行う。

Q 不慮の災害時の税・保険料の減免期間について、1月以降の災害は、翌年も対象とするなど柔軟な対応を求める。
市長 減免は当該年度に限る。次年度も納付が困難な場合は改めて申請いただいたうえで判断させていただく。

Q 選挙管理委員会より、97投票所を37に減らす案が示されたが、市民の投票権を奪うものであり削減は止めるべき。
選管局長 たたき台として示したものの。選挙事務の効率化と合理化及び投票環境の向上を図るよう、投票区域編成審議会において検討を進める。

地域	現在の投票所数	見直し後の投票所数
水 口	30	14
土 山	9	4
甲 賀	16	4
甲 南	18	8
信 楽	22	7
計	95	37

投票所数の見直し案

西田 忠
凜 風 会



Q 旧東海道の街並み保存について
A 地域や関係団体と連携を進める

Q 観光資源としての東海道の宿場町をどのように捉えているか。
産経部長 「忍者」「信楽焼」と並ぶ3大資源として位置付けており、相互連携を図りながら周遊型観光へつなげていく。

Q 既存施設の拡充・見直しに向けた取り組みは。観光地に綺麗なトイレは必須ではないか。
教育部長 地域と連携して協議を進めており、歴史ある街並みを地域の宝として保存活用し、後世につなげていけるよう努める。なお、旧東海道沿いのトイレについては、施設の整備などにあわせて改修も検討する。

Q 街道の風情を高めるという視点で電柱や電線を隠す配線方法の検討を。
建設部長 街道に面した建物の裏側への配線などが考えられるが、経済性や効果などを踏まえ、多面的に検討する必要がある。



電線や電柱を取り除いた土山宿のイメージ

田中 將之
公 明 党



Q 文化芸術をまちづくりの柱に
A まちづくりの大きな柱になる

Q 2010年に第1回信楽まちなか芸術祭を開催し、3年に一度開催してきた。昨年コロナ禍で延期となっていた第4回目の芸術祭が開催された。4回目を終えて、その成果や課題を総括し、今後、どのように進めていくのか。
また、今年度、甲賀市文化芸術振興条例の制定に向けて取り組んでいることも含め、アート、芸術を甲賀市のまちづくりの柱の一つとしてはどうか。

産経部長 次回の芸術祭の開催は未定であるが、地域で組織された団体等による主体的な取り組みに対しては、必要な支援をしていきたい。
市長 文化芸術に関する条例の制定に向け、文化芸術を単体ではなく、観光、福祉、産業、国際交流などの分野と連携し推進することで、一層、心豊かな生活と活力のある社会の実現が図れ、まちづくりの大きな柱になる。



産地のアーカイブ展

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

橋本 律子
凜風会

Q 忍者観光拠点整備の今後の企画は
A 屋外型施設となる広場整備を検討

Q 忍術書原典「間林清陽」の写本が葛木神社蔵から発見された。中巻にはリアルな忍者の48技が記され、貴重に保存されたお宝発見に感無量。日本遺産の今後の歴史探訪に磨きを期待したい。アフターコロナへ回復の今、リアル忍者館の利用実績と課題・今後の展望を伺う。

産経部長 観光案内所として委託運営。コロナ禍で来館者は約4万人。滞在時間は40分でありピーターは把握していない。今後は、魅力ある企画・イベント開催に努める。

Q 第2次拠点整備の、誘客・おもてなし・遊び体験・経済効果・コロナ影響等を含め、見直しや市民参画の視点はどう捉え企画するのか。

産経部長 当初ア

ミューズメントエリアに建物整備と計画したが、アフターコロナを見据え、屋外型施設となる広場整備へ検討予定。今後地域の意見を踏まえ、協議・検討。



観光拠点施設周辺広場イメージ図

瀬古 幾司
凜風会

Q 空き地・空き家の環境美化
A 環境基本計画により適正管理を

Q 空き家で環境改善が必要な件数と改善内容は。

建設部長 55件指導(文書や面談)し、17件が改善。特定空家は18件で内4件に勧告通知した。現在は、7件の認定となっている。今後も適正管理の指導を行なっていく。

Q 空き地の環境改善が必要な件数と指導は。

市環境部長 全部把握していないが苦情などの情報では216件。文書で改善指導している。

Q 空き地に関しては、勧告や命令は出来ないのか。条例等制定の考えはないのか。

市環境部長 現状では勧告や命令は出来ない。今後条例等制定を慎重に検討する。

Q 中学校部活動指導の地域移行について。

教育部長 休日・平

日で指導者が異なるのは現実的でない。克服すべき課題は多い。部活動の意義を失わず、一方、働き方改革の観点も踏まえ、慎重に進める。



休日部活動の様子

橋本 恒典
凜風会

Q 今後の社会的養護の充実
A 本人に寄り添った支援に努める

Q 社会的養護に対する市の考えと取り組みは。

健福部長 支援の必要な子どもや家庭を早期に把握し、支援を行っていく必要があると共に、体制を強化し関係機関と連携して取り組む。

Q 児童虐待の現状と相談件数は。

健福部長 令和2年度から相談件数は急激に増えており、心理的虐待が4割から5割。

Q 市における里親の現状は。

健福部長 令和3年度末現在で14世帯23名が登録されており、市内の里親委託は3名。

Q 甲賀学園「鹿深の家」の施設整備は。

こ政部長 令和5年から6年度にかけて施設整備される予定と伺っている。

Q 入所者自立支援の現状と市の考えは。

健福部長 措置延長も認められているが、市も本人に寄り添った支援を行っていききたい。

Q 今後の社会的養護充実に対する市の考えは。

市長 国や県に対し要望すると共に、関係機関と連携も取りながら本人に寄り添った支援に努めていきたい。



老朽化著しい鹿深の家の管理棟



QRコードで質問の
録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小河 文人
誠 翔 会



Q データセンター誘致の取り組みは A 事業実施可能性調査に予算計上

Q 本市へのデータセンター誘致の考えは。

市長 国においてはデータセンター拠点の地方分散を「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けたデジタル基盤整備の一つに位置付けており、今後、電力や通信インフラ整備等への財政支援、また許認可等の規制の改正、運用の見直しも見込まれるため、タイミングを逸することなく、本市への誘致に向け取り組みを進める。

Q 情報システムの保守、改修、更改等の際に現業者と再契約することとなった事例において、ベンダーロックインの現状はあるのか。また、随意契約、業者に任せきりの現状は。

総務部長 現在、情報系及び基幹系システムを更新する際は、将来の円滑なデータ移行を目的として、あらかじめ調達仕様書に抽出及び移行作業も業務に含まれていること等を明記、支障なく移行することができている。



データセンター設備

甲賀広域行政組合議会

6月3日に臨時会を開催し財産の取得の件を審議しました。

財産の取得

● 高規格救急自動車の購入 1台

更新理由「消防車両更新計画に基づき、甲南消防署配備の高規格救急自動車を更新するもの」

購入価格 268万8千円(税込)

購入先 滋賀トヨタ自動車(株)

採決 全員賛成にて可決

● 消防ポンプ自動車の購入 1台

更新理由「消防車両更新計画に基づき信楽消防署配備の消防ポンプ自動車を更新するもの」

購入価格 372万9千円(税込)

購入先 (株)齊藤ポンプ

採決 全員賛成にて可決

諸般の報告

去る5月2日、里見淳議員から甲賀市議会議員の辞職願があり、同日甲賀市議会議長において許可されました。これにより2番は欠員となりました。

次に5月13日に甲賀市議会において、本組合議会議員の補欠選挙が行われた結果、堀郁子議員が本組合議会議員に選出されました。

議席の指定について

今回、当選された堀郁子議員は2番に指定。



信楽消防署の更新予定の消防ポンプ自動車



甲南消防署に更新予定の救急自動車

甲賀市議会は172位

議会改革度調査ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が「議会改革度調査2021」ランキング300を公開し、甲賀市議会は1355議会中172位となりました。情報共有、住民参画、機能強化の3分野で評価され、甲賀市議会は住民参画が課題となっています。コロナ禍で開催できなかった議会報告会など、広聴機能を強化し改善できるよう、住民参画に取り組んでまいります。

甲賀市議会のランキングの推移

2018ランキング (H30)	64位
2019ランキング (R元)	117位
2020ランキング (R2)	112位
2021ランキング (R3)	172位

特別表彰



橋本律子議員

全国市議会議長会第98回定期総会において、通算20年以上議員として在職されたことに対して議長会から橋本律子議員が表彰されました。



第72回全国植樹祭

6月5日(日)第72回全国植樹祭が甲賀市を主会場として開催され、本市議会議員全員が参加しました。天皇皇后両陛下はオンラインでのご出席となりましたが、天候にも恵まれ素晴らしい式典になりました。

広報部会へ

戸田市議会より視察受け入れ

7月4日(月)埼玉県戸田市議会より、議会だよりの視察に來られました。甲賀市は原稿作成、レイアウト、ページ割、校正まで議員が行っており、「なかなか、そこまで議員が出来ない」とびっくりしておられました。議員がダイレクトに市民の皆さまへ思いを伝える議会だよりを、さらにわかりやすく良いものになるよう、これからも、議員手づくりで力を入れていきたいと思っています。



編集作業を視察される戸田市議会

近畿市町村広報紙セミナー

7月26日(火)～28日(木)近畿市町村広報紙セミナーにオンラインで広報部会から3人の議員が参加しました。見出し、レイアウト、写真などいろいろと大変勉強になりました。今回は部会長の谷永委員がパネリストとして、広報紙づくりの苦労や工夫などを発表しました。

甲賀市の議会だよりは、これまでに本セミナーのコンクールに参加しており、賞をいただいています。

皆さまのお声を 聴かせてください。

市民の皆さま
×
甲賀市議会



意見交換会の ごあんない

甲賀市議会では、開かれた議会をめざし、様々な取り組みを進めています。

このたび広聴活動として私たち議員が直接出向いて市民のみなさんから多様な意見をお伺いすることを目的に、ご希望のテーマ・内容による意見交換会を開催します。

対象は？

自治振興会、
区・自治会単位
※原則、10名程度の
参加をお願いします。

時期は？

令和4年8月から令和
5年2月まで。
新型コロナウイルス感
染症の状況により開催
を中止する場合があります。

内容は？

あらかじめ提出いただく
テーマに基づき行います。
議会として対応できない
ものや、苦情等を目的と
したものにならないよう
ご留意願います。

◎開催をご希望の団体は、議会事務局までお問合せください。
メール koka05101000@city.koka.lg.jp 電話 0748-69-2258

シリーズ
「あなたとつなぐ」

議会だよりのタイトル「あなたとつなぐ」をテーマに、市民の皆さまの活動を広報広聴委員会で取材し、ご紹介いたします。

甲賀市視覚障害者福祉協会

今回は視覚障害者福祉協会を取材させていただきました。ともに障がい者差別のない社会を目指します。

●協会の目的を教えてください。

視覚障がい者が相互に助け合い、組織的に共に活動し、相談し合えることを目的に活動しています。

●会員数とサポートメンバーについて教えてください。

会員数は31名で、すべて視覚障がい者です。ガイドヘルパーさんを中心に、社会福祉協議会やNPO法人の協力を得て、協会事業や外出支援等を行っています。



総会の議長も会員が務められ、点字で口述の確認をされています。

甲賀市視覚障害者福祉協会総会

スマホ教室



スマホができれば、便利！



このアプリを使って紙幣を撮影すると映っている紙幣を音声で何円札か知らせてくれる

●どんな活動をされていますか。

- ・歩行訓練
- ・パソコン・スマホ教室
- ・カラオケ・民謡
- ・卓球など、障がい者スポーツ
- ・日常生活用具補助など情報提供等々

●協会として課題に感じておられることは何ですか。

個人情報保護の観点から、新たに視覚障がいの認定を受けられた方の情報が得られないので、直接入会をお勧めできず、その方々のお役に立てないとともに、会員数の増加が図れないこと。

●議会だよりについて、感想をお聞かせください。

議会での意見や決定事項を知らせていただけることは、ありがたいと感じている。専門用語ではなく、できるだけ誰にでもわかりやすい言葉や文章にして欲しい。

議会だよりを音声データにしてお渡しできます。お気軽に議会事務局または社会福祉協議会にお申し出ください。

編集後記

▶気温30度を越す毎日が続きますが、皆さま、体調崩しておられませんでしょうか。クーラーを適宜、お使いいただき、くれぐれも熱中症になられませう、お身体に気をつけてお過ごしください。▶新型コロナウイルス感染も増えてきていますが、マスクも屋外で人と話さない時は外すなど、体調管理に注意していきましょう。▶今回の議会だよりは4ページ少なくなり、コンパクトになりました。次回は決算審査がありますので24ページに戻ります。これからも読みやすい紙面づくりに力を入れていきます。

(広報部会 堀 郁子)

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。ネット中継もしています。

9月議会の予定

8月30日	9時30分～
本会議(第1日)議案上程・提案説明	
9月7日	9時30分～
本会議(第2日)議案審議・付託等	
9月8日	9時30分～
本会議(第3日)一般質問・常任委員会代表質問	
9月9日	9時30分～
本会議(第4日)一般質問	
9月12日	9時30分～
本会議(第5日)一般質問	
9月13日	9時30分～
本会議(第6日)一般質問	
9月	
14・15・16・20	
21・22・26・27日	
9時30分～	
委員会	
9月30日	9時30分～
本会議(第7日)委員長報告・質疑・討論・採決	

カメラの



2022年7月2日(出)、第10回ふれあいゆるスポフェスティバルが水口体育館で開催されました。体力測定・運動アドバイス・各種競技体験などを通して市民の健康増進を促す楽しい催しとなりました。表紙の写真は『ボッチャ』という競技で、2025年の国スポ・障スポ滋賀県開催正式競技種目です。甲賀市での障スポ正式種目のひとつでもあるので是非皆さんも体験してみてくださいね!大人も子どもも楽しめます。



(写真撮影 北田麗子委員)